

ぬかただより

岡崎市立額田図書館
春号 No.78
2026年3月発行

タケはとても身近な植物です。すぐに成長してしまうので手入れがとても大変ですが、春には美味しいタケノコを食べることができます。今回はタケについて調べました。

タケってどんな植物？

タケはイネ科の植物です。日本に生育している代表的なタケはマダケ、モウソウチク、ハチクなど。樹木の幹に当たる部分を「稈(かん)」と呼びます。稈には節があり、中は空洞です。

通常、植物は茎や根の先だけに成長点があり、そこで細胞が分裂して成長します。タケは先端だけでなく、たくさんある節ごとに成長点があるため、他の植物より早く成長することができます。マダケ、モウソウチクは1日に1メートル以上伸びたという記録もあります。

タケは昔から様々な道具の材料になり、日本人の生活に欠かせないものでした。縄文時代の土器にもタケの絵が描かれていたそうですよ。

タケの花

タケは花が咲くと枯れるといわれますが、開花のメカニズムはまだまだ謎。開花した後に地下茎まで枯れるものもあれば、地上部分のみ枯れて再び地下茎からタケノコが出てくるものもあるそうです。

マダケとハチクの開花は120年周期といわれ、マダケは1950年から1960年頃に全国的に開花し、一斉に枯れてしまったので竹材が不足し、タケで作られていたものがプラスチック製品に置き換わったといわれています。ハチクは1908年前後に開花したことがわかっているため、次は2028年頃が開花のピークではないかと予想されています。

タケとササは似ている!?

七夕さまの歌詞で「笹の葉さらさら♪」とありますが、実際の七夕飾りにはタケを使っていることがほとんどです。先の細い部分を使っているから、ササのように見えたことから、「ササ」と呼んでいるものと思われます。

一般的にタケは背が高く、ササは小さいと認識されることが多いですが、ササのなかには高さ5mを超える種類もあります。また、和名は見た目の印象でつけられているのか、分類的には「ササ」でも名前が「タケ」になっているものや、その逆もあるそうです。植物学では、タケノコの成長に伴い、稈から皮が落ちるものをタケ、張り付いたまま残っているものがササとされています。

七夕にタケを飾る時は、たくさん水を必要とする植物のため、すぐに葉がしおれてしまわないよう、一節ごとに小さな穴を開け、そこへ水を入れておくと長持ちするそうですよ。

オクオカ竹プロジェクト

額田地区ではオクオカ竹プロジェクトとして放置竹林の解消に向けた取り組みを行っています。その1つとして昨年の『ぬかたふるさとまつり』で、額田産のタケを使用した「メンマ」が販売されました。タケノコとしての時期を過ぎて1.5mほどに伸びた幼竹を使用しているそうです。その他にも、竹炭パウダーを入れた餌で育てた豚肉(竹千代ポーク)や、竹炭の土壌改良材など地域資源としてタケを有効活用しています。

●参考資料●農林水産省ホームページ https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2103/spe1_01.html、『タケの大研究』内村 悦三/著 PHP 研究所 653/タ、『植物』学研 470/シ、大塚誠『不要な竹が宝に』東海愛知新聞 2025年11月18日、こもれびかん森の駅情報コーナー『オクオカ竹プロジェクト』パネル、オクオカ竹プロジェクトホームページ <https://www.okuoka-bamboo.com/>



岡崎市夏山町(額田スタッフ撮影)



「おおだの森」にある鹿威し(額田スタッフ撮影)

● 図書館からのお知らせ ●

「おはなしと紙しばいの会」

- ・ 第2土曜 10:30~11:00
- ・ 第3金曜 16:00~16:30

「ブックスタート」

- ・ 偶数月 第1木曜日
- ・ 10:00~11:00

中止や変更になる場合があります。
最新情報は図書館HP、館内掲示等でご確認下さい。

としょかん 図書館クイズ!

日本にある図書館の総数は 何館でしょう?

- ① 319 館
- ② 3319 館
- ③ 33319 館

答えはおたよりの最後です

参考文献

「日本の図書館 統計と名簿2024」

春号のおすすめ本

ちいさいこむけ

『うっかりくまさんたちの おかしなおんがくかい』

へんみ あやか/作 Gakken E/ウ

音楽会の朝、くまさんたちは間違えて楽器ではないものを会場に持って行ってしまいます。ねこ、さつまいも、せんたくき!?さて、無事に演奏できるのでしょうか?間違えた気づいた時の表情が何とも言えません。信じられないくらいうっかりすぎるくまさんたちのお話です。

小学生向け

『くだものはな なんのはな?』

宮崎 祥子/構成文 網野 文絵/写真 岩崎書店 E/ク

美味しい果物は実が出来るまえに様々な色や形の花を咲かせます。まつぼっくりのような形をしている花や、折り紙を折って開いたように見える花など…。いったい、どんな実が生のでしょうか? 花が散った後でどの部分が実に育つかも写真が載っていて、意外なところが実になっているのが分かります。花の写真から果物を当てる楽しいクイズ形式の絵本です。

YA 向け

『正しく疑う』

池上 彰/監修 Gakken 361/タ

「メディアリテラシー」とは、メディアの情報を自ら考え、判断し活用する力です。SNS で誰でも簡単に発信できる時代になり、使い方を誤ってしまうと被害者や加害者になってしまうかもしれません。ウソの情報にだまされないように、まずは「疑う」事がこれまで以上に大切です。

何が正しい情報なのか、自分でしっかり見分けられるように「正しく疑う」チカラを身に付けましょう!

大人向け

『にっぽん桜めぐり』

深澤 武/写真・文 青靑社 479.7/ニ

桜との出会いを求めて日本各地を旅する写真家が綴った文と写真を眺めながら、桜めぐりをしませんか。表紙カバーの木造校舎と風に舞い散る染井吉野の風景は、映画のワンシーンのよう。個性豊かな桜たちが「美しき立ち姿」「時間を旅する」など9章のテーマに分かれて登場します。また桜の文化的な歴史にも触れる「桜コラム」や、様々な品種を紹介する「桜豆ちしき」の内容がとても充実しています。

「竹を割ったよう」とは、さっぱりとしていて、曲がったところが無い人を表すときのことわざとして知られています。竹を縦に割ると真っ直ぐに割れることが語源になっているようです。

そろそろ暖かくなって来る頃です。春の陽気のなかでゆっくりとお気に入りの本をお楽しみください。



岡崎市立額田図書館

榊山町字山ノ神 21 番地 1 TEL82-2953

【開館時間】 9:00~19:00 【休館日】 月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。